

1

A1 ナンシー : ハイ, ケン。昨夜私はホストファミリーと日本食レストランへ行きました。

ケン : ハイ, ナンシー。何を食べましたか。

ナンシー : 私はすき焼きを食べました。それはおいしかったです。
あなたの一番好きな日本食は何ですか。

ケン : 私はテンプラが一番好きです。あなたはどうですか。

ナンシー : 私は寿司が一番好きです。

質問 : ナンシーが一番好きな日本食は何ですか。

2 ケン : 次の授業は理科ですか。

ナンシー : はい。理科室に行きましょう。

ケン : はい。昼食の後, 英語の授業があります。

質問 : 今日は何曜日ですか。

B1 ナンシー : 私の誕生日パーティーに来てくれてありがとう, ケン。

ケン : これはあなたへのプレゼントです。

ナンシー : わあ, すてきな帽子です。ありがとう, ケン。

質問 : ケンからの誕生日プレゼントは何でしたか。

2 ナンシー : 今朝何をしましたか, ケン。

ケン : ハイ, ナンシー。今朝, 私は3時間サッカーをしました。

ナンシー : 3時間。なんて長いのでしょうか!

ケン : そう。だから, 私は昼食にハンバーガーを2個食べました。

質問 : ケンはハンバーガーを何個食べましたか。

C 来月夏休みが始まります。私はカナダにいたとき, よく友達とキャンプをすることを楽しみました。カナダには長い川や美しい山のような自然がたくさんあります。ある日, 私は友達と川のそばでキャンプをしていました。私たちはつりを楽しみました。私は大きな魚をつかったので, とてもわくわくしました。友達の1人, ジムが言いました。「ねえ, ブラウン。あれを見て下さい。あそこに熊がいます。」その熊は大きかったです。それは川のそばを歩いていました。私は驚きました。それから, 私はその写真を撮りました。私は今日, その写真をあなたたちに見せます。これを見てください。この写真はとてもよいですね。この夏, 私は日本の友達とキャンプをすることを楽しむつもりです。私は, あなたたちも夏休みを楽しむことを望みます。

質問 : ブラウン先生はカナダで何をよく楽しみましたか。

2

A1 A : 彼女は本を何冊持っていますか。 B : 彼女は9冊持っています。

2 A : あなたはどこへ行きたいですか。 B : 私は沖縄へ行きたいです。

3 A : あなたは何時に起きましたか。 B : 私は7時に起きました。

- B ジョニー： この漢字を見て。この漢字を読めますか。
ケン： はい、読めます。それはマンガです。
ジョニー： ああ、なるほど。マンガは日本のマンガのことですか。
ケン： そうです。
ジョニー： 私は日本のマンガにとっても興味があります。
あなたはこの漢字を書くことができますか。
ケン： はい、書けます。ジョニー、この漢字を書いてみよう。
ジョニー： わあ、漢字を書くことは私には難しい。しかし、やってみます。

3

- ケンタ： 私は次の日曜日に恐竜博物館へ行くことを楽しみにしています。
サトル： 私もです。
ケンタ： 私たちは何時のバスに乗るべきですか。
サトル： ええと、午前 10 時のバスに乗りましょう。
私たちは午前 10 時 30 分に恐竜博物館の前に着くでしょう。
ケンタ： 博物館のスタッフが私たちに恐竜について説明してくれます。
それは午前 11 時に始まりますよね。
サトル： はい。私たちはその説明を聞くことができます。
ケンタ： そうですね。説明の後、昼食をとりましょう。
サトル： いいですね。恐竜ハンバーガーはおもしろそう。私はそれを食べたいです。
ケンタ： 私もです。昼食の後、恐竜の化石と写真を撮りましょう。
サトル： はい、そうしよう。私は午後 5 時までに家に帰りたいです。
ケンタ： もし私たちが午後 3 時 30 分にバスに乗れば、間に合うでしょう。

4

私は H 町について話します。私は H 町に住んでいます。この町は小さいです。だから、とても便利です。私は中学校まで歩きます。私の家から 10 分かかります。私の家の近くには図書館や美術館もあります。もちろんたくさんのお店もあります。

H 町の中心にお城があります。そのお城は町の人々に愛されています。大きな川がお城の周りを流れています。人々はその川で泳いだりボートを漕いだりできます。お城から、私たちは町全体を見ることができます。人々は、特に夕方にお城からの眺めを楽しみます。人々は夕焼けを見ることができます。お城からの夕焼けはとても美しいです。朝には、たくさんの人々がお城の周りを歩いたり走ったりします。お城の周りにはたくさんの木があります。お城の周りにはたくさんの鳥がいます。だから、人々は歩いたり走ったりするときに、鳥のさえずりを聞きます。

その城は 700 年前に建てられました。私はお城から町を見下ろすとき、想像します。同じように、700 年前、人々はお城から町を見下ろしたと思います。当時は、学校も図書館も美術館もお店もありませんでした。今とはずいぶん違っていました。しかし、川、太陽、鳥のさえずりは同じでした。私はそう感じます。当時の人々にもお城は愛されていたと思います。

ある日曜日、私の母と私はバスでデパートへ買い物に行きました。バスの中で母は私に「窓閉めた?」「ドアのカギはかけた?」「明かりは消した?」とたずねました。私は「心配しないで、お母さん。あなたは窓を閉めました。ドアのカギはかけました。明かりを消しました。」と言いました。しかし、私の母は買い物をしているとき心配していて、私たちは買い物を楽しむことができませんでした。

次の日曜日、天気良かったので、私たちは散歩をしました。私たちが歩いているとき、母は「窓閉めた?」「ドアのカギはかけた?」「明かりは消した?」と言いました。彼女は散歩をしているとき、心配していました。だから、その日私たちは散歩を楽しむことができませんでした。

別の日曜日、私たちは電車で映画を見に行きました。電車の中で、母は「窓閉めた?」「ドアのカギはかけた?」「明かりは消した?」と言いました。私は「心配しないで、お母さん。これらの写真を見て。」と言いました。私はスマートフォンで何枚かの写真を見せました。写真の中の窓は閉められ、明かりは消されていました。そして、ドアのかぎも閉められていました。彼女は「まあ、私は心配しなくていい。ありがとう、エリコ。」と言いました。その後、私たちは映画を楽しみました。

次の月の日曜日、私の父と母と私は祖父の家を訪れるために車で出かけました。車の中で、私は母に「心配しないで、お母さん。今日も私は完ぺきな写真を撮りました。」と言いました。彼女は「ありがとう、エリコ。私は今日心配しなくていい。」と言いました。私の父は「私にはわからない。どういう意味ですか。」と言いました。しかし、父はほほえんでいました。そして、母と私も笑っていました。

もし、私はアイデアがあれば全てのことは解決できます。私はそのことを学びました。